



1、2008年度の活動内容

- 省エネ大辞典から始まった
- ありんこ省エネ村通信 の発行
- 茶話会、さんまの会など顔をあわせる活動
- エコハウス 暮らし方交流会
- 環境デーなごや2008など自治体のイベントに出展
- 省エネ機器の開発と利用
- ソーラーヘルプデスク
- MAKE the RULE キャンペーンへの参加
- ホームページの作成
<http://arisora.yukihotaru.com/index.htm>



ありんこソーラー・マイレージクラブ エコハウス 暮らし方交流会

日にち:2008.11.16 会 場:奏楽堂、緑化センター(名古屋市鶴舞公園)

講演会「地球温暖化防止めぐる、世界の動き、日本の動き」 下村善嗣氏(環境省地球温暖化対策課)

エコ ハウス実践報告

- デーサービスののんびり これまでの実践
武田善明氏(デーサービスののんびり)
- イルミネーショングリーン化キャンペーンとグリーン電力証書のまちづくり
庄司知教氏(中部リサイクル運動市民の会)
- 雨水利用の実際
磯部庄司氏(ZIN 設計室)
- わかつちやいるけどの省エネ
八島武久氏
- 野草生け花のワークショップ
華原の会 山本純子家元
&華原の会のみなさん

2、地域で積極的に取り組んできたこと

『懐かしい暮らし方は未来を救う』キャンペーン

- 掃除機をほうきに持ち替え、すだれの活用をはかり(すだれ作りワークショップ)、
- 夏は薄着で冬は重ね着でおしゃれをという生活
- まきストーブの紹介や
- 練炭や炭の利用も
- 野草の生け花で生活を楽しくするワークショップも

3、マイレージクラブ事業を通して発見

プラス面とマイナス面

- 自らエネルギーを選択して暮らしている人の何人かは、データをとることでCO2削減を確認している
- オール電化でガスが使えない家庭では、経費は安くになっているかもしれないが、給湯、床暖房など電気使用量が増えることを余儀なくされている
- オール電化を選択することで、省エネ行動の工夫の幅が限定されているのではないか
- PV設置があっても電力消費量の多い家庭もある

4、当該事業を行ってプラスになったこと

- 各家庭での省エネの工夫を知ることができたこと
- エネルギー使用の様子から、高齢者のお宅や障害をもった方のいるお宅の様子が伝わり、何かあったか声をかけてあげられる
- 省エネを話題したコミュニティがつくれること
- 茶話会やさんまの会などの集まりが気軽に開ける
- 省エネ機器の開発と実用化
2007年度 MOTTAINAI シリーズ
2008年度 Break The Rules 発想の転換

待機電力MOTTAINAI

2007年度

- 待機電力1/2ボックス
- けし忘れ解消タイマーボックス
- 着信感知センサー
FAXは待機電力を0に
耳の遠い人に着信を光で知らせます
- 光センサー付きスイッチ
冗長電力カット型

Break The Rules

独立型PVの利用法

2008年度

- 日本国内使用のACアダプターの傾向は入力電圧が100V-240Vのものが主流、これにより電圧環境の住み分けが可能になる。(日本だけの特典)
- 太陽光パネルの発電電圧が100Vを下まわると自動的に商用電源(電力会社)に切り替わる

NPO法人太陽光発電所ネットワーク
ありんこソーラーマイレージ・クラブ
企画開発

発生電圧優位の電力を消費する



- 右の写真は太陽電池は、85W。
- STインバータは室内です。
- PCの近くに設置。
- 0.5~0.6A×100V位かせぎます。
- 1日4時間として200~240W省エネに
- **パソコンを日昼、太陽電池1枚で運転。**

電力が必要？明かりが必要？ LEDと電気二重層コンデンサ利用の工夫



- “灯り”なら、数ワットでカバーできる太陽電池
- チラつかないから目が疲れない
- 12個→8個→4個→消灯
- この間 約8時間
- 左の5W程度のパネルで充電40分位
- マイクロライト2つ充電可
- 場所をとらない

5、データ収集の苦労話

- 冬の時期にマイナス家庭がいくつも出て、全体の目標値にたどりつけないこと
- PV設置者で発電量を見ていなくて、ソーラーマイレージクラブに参加してもらえない
- 一人住まいの高齢者の方、本人は努力されているつもりでもどうしてもマイナスになりがち。それ以上は突っ込めない
- データ報告のFAXや連絡らんで、近況や使いすぎの反省、ねぎらいの一言に集計の喜び

6、特筆すべきプラス事例

- マイレージ上位の3世帯は、PVありの家庭で2世代、3世代同居で、3402マイレージ、3196マイラー、2594マイレージとそれぞれ達成
- 薪を使つての調理やお風呂を沸かしりしている家庭でPVありで2615マイレージ達成
- オール電化でも6kW/hのPVの世帯で1371達成
- 冬にエネルギー使用量が多くなり、第2期より第3期がプラスからマイナスになる世帯が複数という例も

7、その他特に伝えたいことなど

- 太陽光発電の普及のための議論が、補助金や固定買取制度の話になりがちだが、
- ソーラーマイレージクラブの活動のようにデータを自ら記録し、省エネ行動に結びつけることは
- 住宅用太陽光発電普及と発展の核心をなすものであり、
- 補助金に社会的(国民的)位置づけを与えるもの
- 今年度までの事業ということだけでなく、今後の支援と継続を期待したい



Special Thanks

社会福祉法人池内福祉会、中部リサイクル運動市民の会、café SIMON
デーサービスのんびり、ヤシマエンジニアリング、ZIN設計事務所、ajito55
NPO法人このゆびとまれ、山城園基教室、原発雑考
華原の会、長戸町町内会のみなさん